

## 第2回西尾市定住自立圏共生ビジョン懇談会 会議録

- ・日時：平成23年12月15日（木）15:00～16:00
- ・場所：西尾市役所4階 41 会議室
- ・出席：（委員）近藤照夫、田中正規、尾崎隆爾、近藤博之、大河内正敏、  
颯田洪、伊藤貞幸、牧野明広、長島明広、田中義広、  
山本浩司（大岡宗弘委員の代理）、  
小川敦司（近藤博之委員の代理）  
（事務局）岩瀬課長、鈴木主任主査、大内主事
- ・欠席：（委員）杉田芳男、大岡宗弘

【敬称略】

### 1 あいさつ

- ・大河内会長からあいさつを行った。

### 2 協議事項【西尾市定住自立圏共生ビジョンについて】

事務局から修正事項について説明。要旨は以下のとおり。

- ・表紙、下部の策定年月日を、「平成22年5月31日」とし、平成23年12月に更新という形で記載した。（総務省の指導による変更）
- ・2ページ、ビジョンの期間を「平成23年度～平成27年度」から「平成22年度～平成26年度」に変更した。（総務省の指導による変更）
- ・3ページ、下部の表中の主な産業を追記した。
- ・4ページ、説明文と表中の分野の表現を統一した。
- ・5ページ、合併後の1市という状況に合わせるため、都市機能の集積、連携という文言を削除した。
- ・6ページから12ページの共通事項、
  - ・表に「関係団体」という項目を追加した。
  - ・表中の「地域間の役割分担」を「事業における中心・周辺地域の位置づけ」に変更した。
  - ・事業における中心・周辺地域の位置づけとして、施策を展開するにあたり、市としてそれぞれの地域をどう位置づけていくかを記載した。
- ・8ページ、表中の効果の中に、「蔵書情報の一元化」という文言を挿入した。
- ・14ページ、1（1）に、産婦人科と小児科の強化について記載した。
- ・14ページ、1（3）に、図書館のスペース確保の問題を記載した。
- ・14ページ、2（9）に、道の駅へのくるりんバス乗り入れを記載した。
- ・15ページ、3（1）に、市職員の地域活動への参加の必要性を記載した。
- ・15ページ、3（2）に、高校生などの若い世代を対象とした人材育成が必要という見解を記載した。

各委員から、以下の意見が出された。

- ・医療分野では、全国から医師を集められるよう努力が必要。
- ・今後も西尾・蒲郡線の存続のために名鉄・行政双方の努力が必要である。
- ・道の駅、地産地消事業では、それぞれの団体が関係を密にしていくことが必要。
- ・市民活動推進事業では、旧3町とのネットワークと情報一元化の仕組みが必要。
- ・14ページ以降に課題として記載した事柄を、市として責任を持って取り組んでほしい。

前回懇談会で出された意見、その後に委員から事務局に寄せられた意見がおおむね反映されているということで、素案が承認された。